

人権学習ワークシート集 VII

—人権教育実践事例・指導の手引き(高校編 第16集)—



平成31年 2月

目次

はじめに	1
ワークシート集の活用の仕方について	1
学校教育における人権教育推進のために	2
高等学校の全体計画例	3

教材・解説・指導資料編

1 アサーションって何？	4
2 デートDVが起こる社会的要因に気づこう	16
3 障がい者の人権	23
4 高齢者の理解	28
5 エイズ患者・HIV感染者の人権	34
6 同和問題〔指導資料〕	43
7 外国につながるのがある生徒の理解のために	48
8 外国につながるのがある児童・生徒の人権～ヘイトスピーチ～〔指導資料〕	57
9 誰もがなり得る、そして抜け出せない状況	62
10 自分や身近な人が犯罪被害者になったら	72
11 ある日突然、大切な人がいなくなってしまったなら	80
12 セクシュアリティは人それぞれ！～LGBTQについて考えよう～	87

はじめに

生徒が人権尊重の理念「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」を理解するとともに、それが具体的な態度や行動に現れるようになるよう、学校教育のあらゆる場面で人権教育を行うことが、いま、求められています。

このワークシート集が、学校における人権教育推進のための一助となれば幸いです。

ワークシート集の活用の仕方について

- 1 このワークシート集は、県内の高等学校・中等教育学校後期課程の特別活動や教科・科目の中で、人権教育に取り組む際に活用するために作成しました。
- 2 このワークシート集は、「かながわ人権施策推進指針（改訂版）」に基づいて、様々な人権課題を取り上げています。学校や学年、学級の実態に合わせて御活用ください。
- 3 このワークシート集は、各題材にワークシートとその解説を掲載しています。実践する前には、ワークシートと解説を十分に参照してください。
- 4 別の冊子に収録したり、ワークシートの内容を変えて研究成果として発表するなど、研修や授業以外の目的で使用する場合には、著作権上の制約がありますので、神奈川県教育委員会にお問い合わせください。
- 5 ワークシートは、神奈川県ウェブサイト（「人権教育指導資料・学習教材の紹介」）からダウンロードできますので、印刷して使用してください。
- 6 各学校に配付されている「人権学習ワークシート集Ⅳ（高校編第 13 集）」、「人権学習ワークシート集Ⅴ（高校編第 14 集）」及び「人権学習ワークシート集Ⅵ（高校編第 15 集）」に、他のワークシートとその活用例を多数掲載しています。併せて御活用ください。

◆◆◆ 学習を進めるに当たって ◆◆◆

- 一人ひとりの生徒が話し合いなどに参加しやすい雰囲気を作りましょう。
- 生徒が、他の人の考え方を尊重しながら、意見や考えの違いを認め合えるようにしましょう。他の人を傷つけるような言動があったときは、その学習の時間内で問題点を指摘し、適切に指導しましょう。
- 生徒が、ワークシートに書いた内容を他の人に見せたくない場合や、話したくない場合などには、個々の生徒の意思を尊重しましょう。
- 学習の前に、ワークシートへの記入は書ける範囲とし、全部を記入する必要はないことを確認しましょう。

学校教育における人権教育推進のために

学校教育における人権教育の在り方について

各学校が人権教育に取り組む際、人権に関わる概念や人権教育がめざすものを明確にし、教職員が十分理解した上で、組織的・計画的に取組を進めることが大切です。

平成 20 年 3 月に文部科学省が公表した「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」において、人権教育の目標は、次のように示されています。

一人一人の児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること]ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようすること

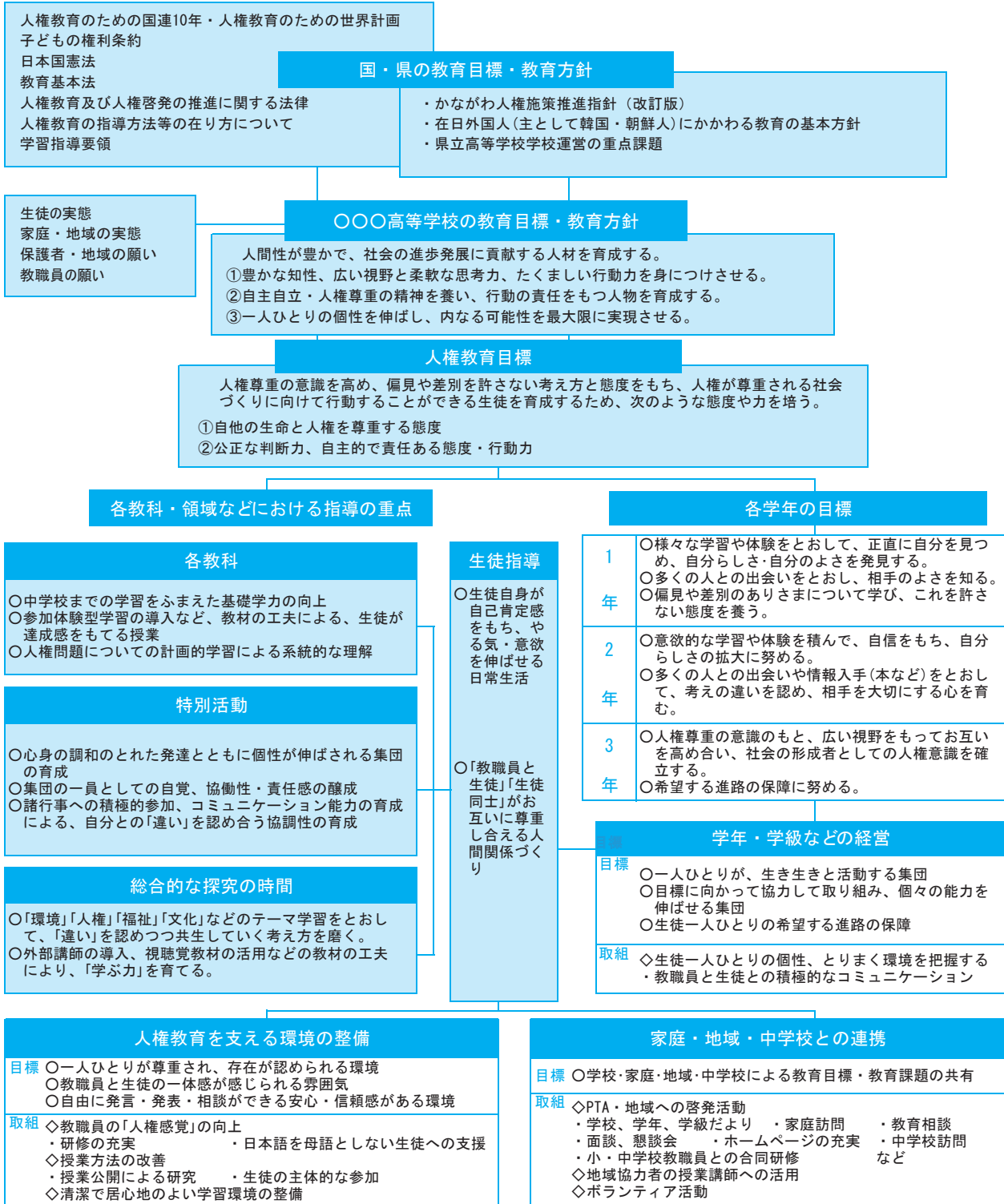
また、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること]ができるということが、具体的な態度や行動にまで現れるようにするために、各学校において、教育活動全体を通じて、例えば、次のような力や技能などを総合的にバランスよく培うことが求められています。

- ① 他人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、共感的に理解する力
- ② 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能
- ③ 自分の要求を一方向的に主張するのではなく、建設的な手法により他人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能

このような力や技能を培い、生徒の人権感覚を健全に育むためには、人権が尊重される「学習活動づくり」、「人間関係づくり」、「環境づくり」が一体となった学校全体としての取組が必要です。

また、各学校が組織的・計画的に人権教育を推進するためには、人権教育全体計画を作成することが有効です。次頁の「高等学校の全体計画例」を参考にしてください。

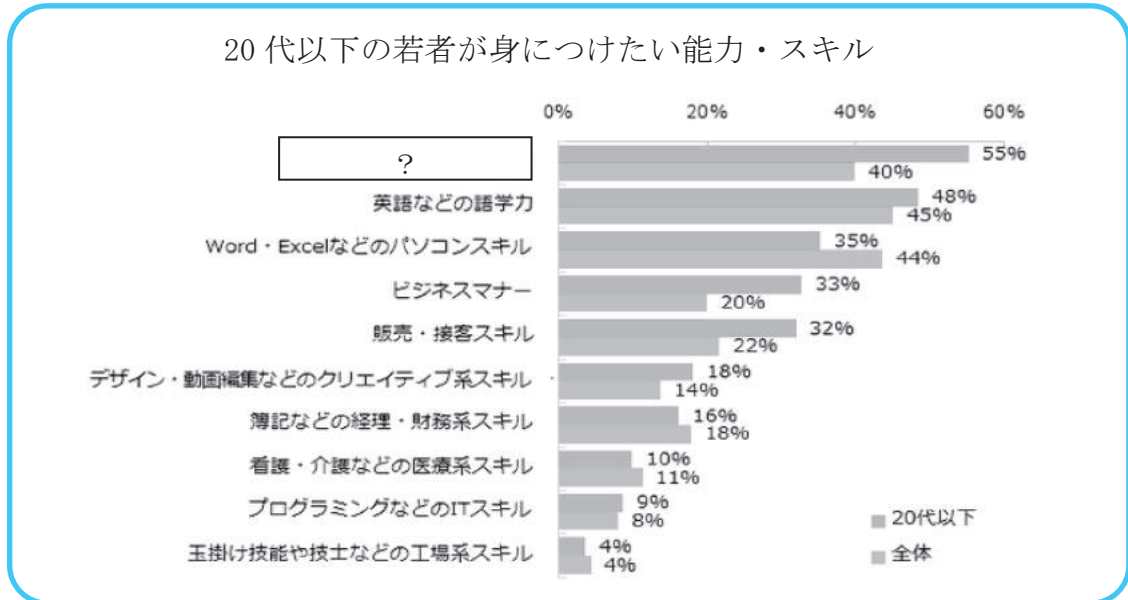
高等学校の全体計画例



1 アサーションって何？

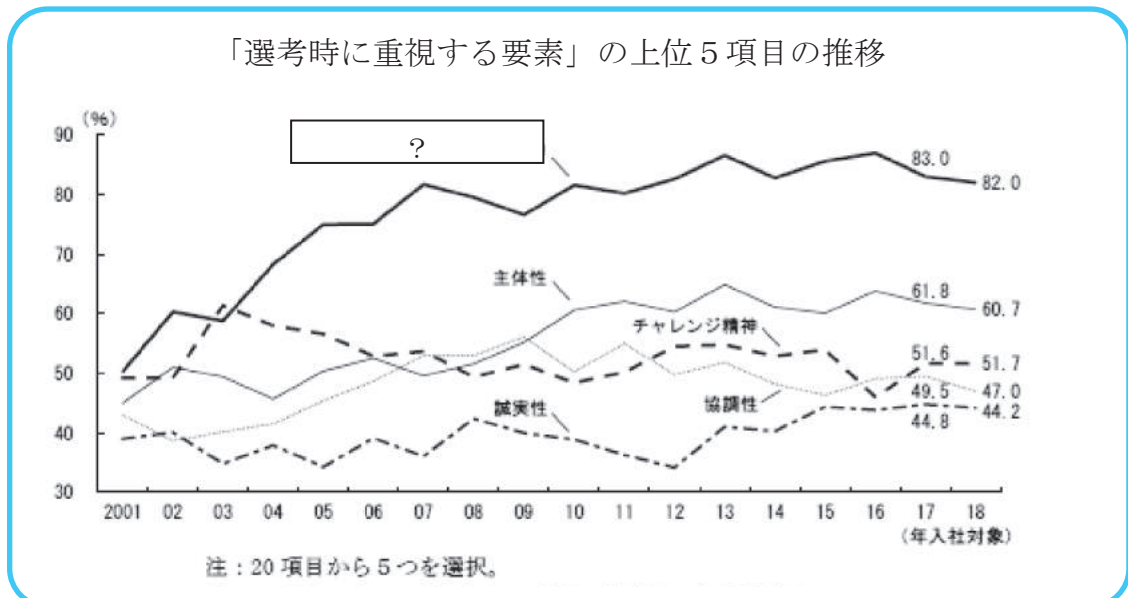
ワーク 1

次の2つの調査結果は、どちらも同じ能力が1位になっています。何の能力でしょう。



「『2016年に身につけたい能力』」についてのアンケート調査結果

エン・ジャパン株式会社（平成28年2月18日）より



「2017年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」一般社団法人 日本経済団体連合会




(平成29年11月27日)より

能力：

ワーク 2

あなたは、Aさんです。次の場面であなたはどのように対応をしますか。

今日は試験2日前です。AさんはBさんに頼まれて1週間前に試験範囲のプリントを貸しました。「すぐに返す」と言っていたのにまだ返してくれる気配はありません…。

ア		(Bさん、プリントなかなか返してくれないなあ。 本当に困ったな。こんなことなら貸さなければよかったかな?)
イ		「Bさん、この前貸したプリント返してもらっていないんだけど…。」
		「あ、忘れてた！ごめん、ごめん。」

(1) Bさんの「あ、忘れてた！ごめん、ごめん。」に対して、あなたはどう感じましたか。

(2) Bさんに対して、あなたならどのように気持ちを伝えようと思いますか。

伝える言葉 (セリフ)

表情や言い方

(3) まわりの人と(1)で感じたこと、(2)の伝え方を比べてみましょう。同じでしたか。似ていましたか。まったく違っていましたか。

ワーク 3

次の場面でアサーティブな自己表現を考え、アサーションの練習をしてみましょう。
(グループワーク)






CさんとDさんはクラスの文化祭担当委員です。文化祭までには〇〇、△△、□□の準備や定期的に行われる放課後の委員会への出席が必要になります。
しかし、Dさんは準備を手伝わず、委員会にもなかなか出席してくれません。
Cさんは「1人では準備できない」と感じていますし、Dさんにも「ちゃんと仕事をして欲しい」と思っています…。

(1) 気持ちの整理：Cさんの立場になって、どんな気持ちか考えてみましょう。

例：「～～だから怒っている」「～～だから困っている」「～～だから悲しい」
など

気持ちを整理して、何を伝えたいかが、明確になったら、アサーティブな伝え方を考えてみましょう。顔の表情も一緒に考えてみましょう。

(2) アサーティブな自己表現をしてみましょう。

ア	 	セリフ① 状況の確認・受け止め ----- ----- ----- 「文化祭準備や委員会出席のこと、よく分かっていなかった。ごめん。」
イ	 	セリフ② 気持ちを「私は…」で表現 ----- ----- セリフ③ 行動の依頼・提案 ----- ----- 「任せっぱなしでごめん。一緒に準備するよ。委員会も一緒に参加するよにする。でも、習い事があって早く帰らないといけない日もあるんだ。そのときは委員会に出席できない。ごめん。」
ウ		セリフ④ 感謝・納得 ----- -----

(3) 各グループでC役、D役、観察役を決めて自分たちの作ったセリフでロールプレイをしてみましょう。メラビアンの法則を参考に、話し方や表情なども意識しましょう。

1回目 C役 () D役 () 観察役 ()

2回目 C役 () D役 () 観察役 ()

※C役、D役、観察役になったとき、それぞれどのような気持ちになりましたか。

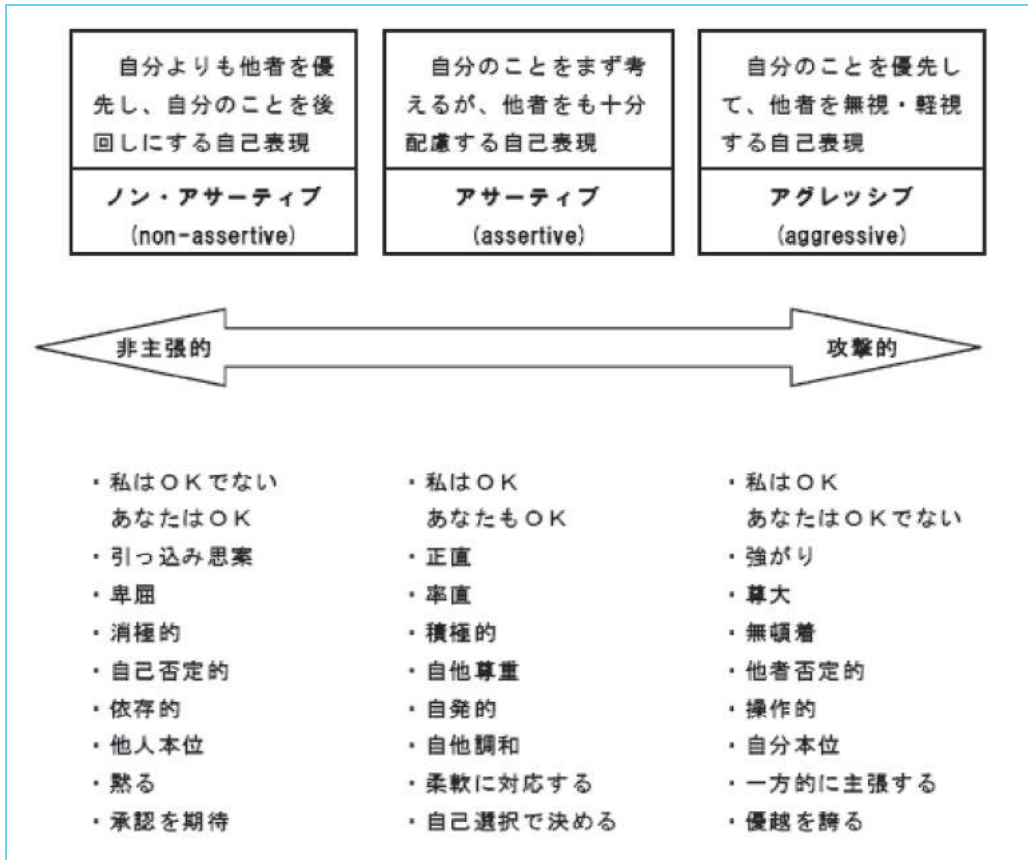
ワーク4

(1) 今日学んだアサーションを普段の生活で実践した場合、どんなメリットがあると思いますか。また、デメリットとしてどのようなことが考えられるでしょうか。

(2) 今日の授業の感想や意見を書きましょう。












■ 資料 1

(1) 人間関係の持ち方「3つのタイプ」



「よりよい人間関係をはぐくむ『アサーション・トレーニング』指導プログラムの開発に関する調査研究」埼玉県立総合教育センター（平成23年3月）より

(2) 3つのタイプ別にワーク2の場面の対応例を見てみましょう。

	ノン・アサーティブ	アサーティブ	アグレッシブ
ウ	 「あ、そうなんだ…。OK、OK。分かった。」  「写したら返すねー。」	 「勉強しないといけないから、返してもらえないと困るんだ。写したら今日中に返してもらっていいかな？」  「そうだよ。本当にごめん。今日中に返すね。」	 「すぐ返すって言っていたのに、いいかげんだね。私だって勉強しなきゃいけないのに！」  (怒られてビクビク。イラッ!)
エ	 「いつ返してくれるのかな…？ 勉強できないよ…。」 (モヤモヤ)	 「分かった。今日の帰りにもらうね。」 (スッキリ)  「うん。ありがとう。」	 「そんな言い方しなくていいでしょ！返せばいいんでしょ!!」  「もう、Bさんには二度と貸さない！」 (イライラ)

■ 資料 2

(1) アサーティブな自己表現＝「アサーション」

「アサーション」 (assertion) とは

自分も相手も大切にしたい「さわやかな自己表現」



自分の意見、考え、気持ちなどを、率直に、正直に、相手のことも配慮しながら、その場の状況に合った適切な方法で表現すること。

(相互尊重、相互理解を深めようとする考え方)

「よりよい人間関係をはぐくむ『アサーション・トレーニング』指導プログラムの開発に関する調査研究」埼玉県立総合教育センター（平成23年3月）より

(2) アサーションを理解する上で重要なポイント

- ① 自分には感情がある。自分の感情を大切にしたい、表現したい。
→自分は完璧な人間ではないが、人格をもった価値のある存在である。

- ② 自分と同様に相手にも感情がある。相手から「ノー」と言われる覚悟をもつ。
→お互いに歩み寄って、お互いに納得がいく結論へ向かう。

- ③ いつでもどこでもアサーティブであらねばならない…と考えない。
→自分の行動、考え、感情は自分で決めてよい。

「よりよい人間関係をはぐくむ『アサーション・トレーニング』指導プログラムの開発に関する調査研究」埼玉県立総合教育センター（平成23年3月）より

(3) 言葉以外にも、伝え方に大きく影響を及ぼすもの

メラビアンの法則（7：38：55の法則）

何によって相手に伝わるか（対面している場合）








7%	-----	言葉の内容	}バーバル（言語的）	7%
38%	-----	話し方		
55%	-----	ボディ・ランゲージ	}ノンバーバル（非言語的）	93%

「授業改善ヒント集Ⅱ 教師の学びを子どもの未来へ」新潟県立教育センター（平成28年3月）を参考に作成

■ 資料 3

アサーションをするためのポイント

ワーク 2 の場面を見本にアサーティブな自己表現の方法を確認していきましょう。

ア	 <p>A</p>	<p>(Bさん、プリントなかなか返してくれないなあ。 本当に困ったな。 こんなことなら貸さなければよかったかな?)</p>	<p>◆ポイント 1：気持ちの整理 自分の気持ちを明確に把握することが、素直に自己表現することの第一歩。</p>
イ	 <p>A</p>  <p>B</p>	<p>「Bさん、この間貸したプリント返してもらっていないんだけど…。」</p> <p>「あ、忘れてた!ごめん、ごめん。」</p>	<p>◆ポイント 2：状況の確認・受け止め 状況について客観的事実を指摘し、相手の気持ちや状況を確認する。これをしないと相手に唐突な印象を与える。</p>
ウ	 <p>A</p>  <p>B</p>	<p>「勉強しないといけないから、返してもらえないと困るんだ。写したら今日中に返してもらっていいかな?」</p> <p>「そうだよね。本当にごめん。今日中に写して返すね。」</p>	<p>◆ポイント 3：気持ちを「私は…」で表現 「私は」を主語にして、自分の気持ちや考えを率直に言うことで、相手に理解してもらえるよう願って伝える。</p> <p>◆ポイント 4：行動の依頼 提案 自分が受け入れられる範囲の妥協案や解決案を提案することで、相手への配慮をする。断られることも想定しておく。</p>
エ	 <p>A</p>  <p>B</p>	<p>「分かった。 今日の帰りにもらうね。」</p> <p>「うん。ありがとう。」</p>	<p>◆ポイント 5：感謝・納得 話し合えたことに感謝し、たとえ意見が違ってもそのことを納得する。</p>

解説 1 アサーションって何？

1 ねらい

コミュニケーション能力は、社会で生きていく上で重視される能力であり、多くの人が望んでいる能力でもある。アサーションとは、自分も相手も大切に自己表現のことを言い、気持ちのよいコミュニケーションを交わすスキルである。「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」は自他の人権を正しく理解し、相互に尊重し合うことにつながる。このワークでは、コミュニケーションの困難さをアサーションによって改善していくことを理解する。そして、アサーションを用いた他者との関わり方を考え、体験することで、気持ちのよいコミュニケーションについて考えを深める機会とする。

2 進め方

展開例（50分 4～6人のグループを作る）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (5分) ① 2つの調査結果を見て、どちらも1位となっている能力は何かを考える。 ② 本時の目的と活動内容について理解する。	<ul style="list-style-type: none">○ 各自またはグループで考えさせる。○ コミュニケーション能力は、「皆が身につけたいと思っている能力・スキル」であることを伝える。○ コミュニケーション能力を高める方法として、アサーションという自分も相手も大切に自己表現があることを伝える。
2 ワーク2 (20分) ① 各自で(1)(2)に取り組む。(1)(2) ② (1)(2)の内容を他の生徒と比較し、一人ひとりの違いなどを実感する。(3) ③ 資料1～3をもとに、アサーションについて理解する。	<ul style="list-style-type: none">○ ワーク2は、普段の自分の表現方法でよいことを伝える。○ 表現タイプの違う何人かに発表を促してもよい。○ 資料1～3を配付する。○ 資料1を説明した後、ワーク2の自分の自己表現が、どのタイプに近かったかを確認するように伝える。○ アサーティブな自己表現を学ぶことで、様々な場面で相手も自分も大事にする人間関係が築けることを伝える。

3 ワーク3 (20分)

- ① 各グループでアサーティブな表現のセリフを考える。CとDのやり取りを各グループでロールプレイし、アサーションを体験する。 (1) (2) (3)
- ② いくつかのグループで考えたやり取りをロールプレイ形式で発表する。

○ ロールプレイではメラビアンの法則を参考に言葉以外の表現についても意識するよう促す。

○ 各グループの話し合いの様子を把握しておき、アサーティブな自己表現のセリフが考えられているグループに発表を促す。

4 ワーク4 (5分)

- ① 本日のまとめとして各項目の内容を各自で考え記入する。 (1) (2)

○ ワークシートを回収し、後日まとめたものを配付するなど、他者の意見や考えに触れる機会を設けてもよい。

3 解説

(1) ワーク1について

調査結果「20代以下の若者が身につけたい能力・スキル」は、エン・ジャパン株式会社が平成28年2月18日にまとめた「2016年に身につけたい能力」についてのアンケート調査結果の中から引用した。アンケートは、エン・ジャパン株式会社が運営する求人サイト上でサイトを利用する1,331名から複数選択可として回答を得たものである。アンケートの結果、コミュニケーション能力が20代以下の若者では55%と1番多かった。

調査結果「『選考時に重視する要素』の上位5項目の推移」は、一般社団法人日本経済団体連合会が平成29年11月27日にまとめた「2017年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」の中から引用したものである。企業が採用選考するにあたって重視した点20項目から5つを選択し回答するアンケートの結果、15年連続で「コミュニケーション能力」が第1位となっている。この2つの結果からコミュニケーション能力は、「皆が身につけたいと思っている能力・スキル」であることを確認し、本時の目的と活動内容の説明につなげていく。

(2) ワーク2について

ワーク2は、友人関係で困った場面において、普段の自分がどのように感じ、どのように自己表現をするのかを意識するためのものである。また、(3)でまわりの生徒と比べることで、感じ方や伝え方は人それぞれ違うことを認識する機会にする。表現タイプの違う何人かが発表するとよりわかりやすい。

資料1(1)の図を用いて、人間関係の持ち方には大きく分けて3つのタイプがあることを説明する。タイプの説明は、まず、ノン・アサーティブ、アグレッシブ、つ

いで、2つのバランスをとったアサーティブの順で行い、資料1(2)の表現具体例を活用しながらタイプについて説明するとわかりやすい。資料1の説明が終わったあと、ワーク2の自分の感じ方、自己表現がどのタイプに近かったのかを確認することで、今の自分のタイプを客観視することができる。この際、「ノン・アサーティブタイプやアグレッシブタイプだからダメ」ということではなく、自分のタイプに気づき、意識することでよりよいコミュニケーション能力を身につけるチャンスにすることができる。そして、よりよいコミュニケーション能力を身につけるために、アサーティブな表現方法について学び、練習して試みる大切であることを伝え、資料2、資料3の説明へとつなげる。

資料2(1)(2)は、アサーションという自己表現を理解するための資料である。アサーションを用いることは、自分と他者の人権を正しく理解し、尊重し合うという側面があり、自分と同様に相手も同じ権利をもっていることを認識する必要がある。自分がアサーティブな自己表現をしているから相手は自分の気持ちにゆだねなくてはいけないと思うことは、相手の権利を侵害する考えであり、拒否される場合があることも理解しておく必要がある。また、自分で自分の心を守るために、いつでもアサーティブである必要はないこと、「アサーティブな自己表現が正しく、それ以外は正しくない。」という誤解をもたせないことに留意する必要がある。資料2(3)のメラビアンの法則では、アサーティブな自己表現には、声の質、速さ、大きさ、口調といった「話し方」や見た目、表情、しぐさ、視線といった「ボディ・ランゲージ」などの非言語的な要素も大きく影響することへの理解を促す。

資料3は簡潔に説明し、実際にこのポイントについて考えてみるワーク3へとつなげる。

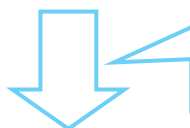
(3) ワーク3について

アサーションを身につけるためには、繰り返し練習することが必要である。ワーク3では日常でアサーティブな自己表現ができるように練習を行う。ここでの活動は、これまでのアサーションの知識をもとに、クラスメイトとの関係で困った場面についてアサーティブな自己表現のセリフと言葉以外の表現(表情)をグループで考えさせる。そして、考えたセリフを使いグループ内で順番にC役、D役、観察役となりロールプレイ(役割演技)をすることによって擬似的な体験をさせる。C役はアサーティブな自己表現をする体験、D役はアサーティブな自己表現をされる体験、観察役はアサーティブな関係を客観的に見る体験をすることで、改めて気持ちのよいコミュニケーションについて意識することになる。アサーションを体験することは、アサーティブな自己表現のよさだけでなく、難しさや気恥ずかしさを感じることもとなると考えられる。この活動をとおして、自分も相手も大切にしているコミュニケーションについて深く考えるきっかけにする。ロールプレイの際は、セリフ以外にもメラビアンの法則を参考に話し方や表情についても意識することを伝える。

以下は、ワーク3のアサーティブな自己表現例である。






(1) 気持ちの整理：Cさんの立場になって、どんな気持ちか考えてみましょう。

例：「～～だから怒っている」「～～だから困っている」「～～だから悲しい」など
クラスの文化祭担当委員の沢山の仕事の負担が大きく、1人ではやりきれないから、困っている。
Dさんの責任感の無い態度に苛立っている。1人きりで仕事をするのは不安。



気持ちを整理して、何を伝えたいかが、明確になったら、アサーティブな伝え方を考えてみましょう。顔の表情も一緒に考えてみましょう。

(2) アサーティブな自己表現をしてみましょう。

ア	 C  D	<p>セリフ① 状況の確認・受け止め</p> <p><u>Dさん、私とDさんは文化祭担当委員なんだけど、文化祭の準備や委員会に出席してくれていないよね？Dさんは、文化祭担当委員の仕事をするのは難しいのかな？</u></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>「文化祭準備や委員会出席のこと、よくわかっていなかった。ごめん。」</p>
イ	 C  D	<p>セリフ② 気持ちを「私は～」で表現</p> <p><u>文化祭担当委員の仕事って沢山あるんだ。私1人で仕事をするのは大変だし、一緒に関わってもらえなくて本当に困っているの。私だけで頑張れるか不安だし。</u></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>セリフ③ 行動の依頼・提案</p> <p><u>私としては、Dさんに一緒に委員会に出席してもらって、一緒に準備の仕事をして欲しいと思っているのだけど、どうかな？</u></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>「任せっぱなしでごめん。一緒に準備するよ。委員会も一緒に参加するようになる。でも、習い事があって早く帰らないといけない日もあるんだ。そのときは委員会に出席できない。ごめん。」</p>
ウ	 C	<p>セリフ④ 感謝・納得</p> <p><u>一緒に仕事してもらえるとわかってよかった。委員会に出席できないときは事前に知らせてね。次の日に仕事内容を伝えるね。いい文化祭になるよう、一緒に頑張ろう。</u></p>

(4) ワーク4について

アサーションを身につけ、よりよいコミュニケーションをめざすことは、これまでの自分のコミュニケーションを意識し、変えてみよう実践し続ける必要があります、決して簡単なことではない。アサーティブな自己表現が身につくまでは違和感をもつこともあるだろう。また、相手がアサーティブでなければ、コミュニケーションに失敗することも考えられる。(1)ではそのようなデメリットにまで深く考察でき

るとよい。(2)では、これまでの自分のコミュニケーションを省みたり、よりよいコミュニケーションとは自分と他者の人権を尊重し合うものであることに触れたりすることにより、「コミュニケーション能力は練習と失敗を繰り返しながら自分で高めていくことができるものである」と前向きに考えている感想や意見が出されることを期待したい。

＜参考資料＞

「図解 コーチング・マネジメント」著者 伊藤守 DISCOVER (平成17年4月)

「人権学習のための参加体験型学習プログラム集 第2集 すてきだね あなたの気づかい 思いやり」
神奈川県教育委員会 (平成27年2月)

「改訂版アサーション・トレーニング さわやかな〈自己表現〉のために」著者 平木典子
金子書房 (平成27年9月1日)

2 デートDVが起こる社会的要因に気づこう

※ここでは、交際相手からの暴力を「デートDV」とします。

ワーク 1

最初に、次の恋人同士の会話を各自読んでください。

次に、恋人同士の会話を再現するので聞いてください。

- A：今度の日曜日さ、一緒に〇〇遊園地に行こうよ！
B：いいね！〇〇遊園地って大きな観覧車が有名だよ。乗りたいな。
A：観覧車もだけど、お化け屋敷も怖いって評判だよ。入ろうよ！
B：えー！！怖いのが苦手だよ。いやだー。
A：大丈夫、大丈夫！手を握ってあげるから！
B：え〜。絶対だよ。1人で先行くとか無しだよー。でも…楽しみだね！
A：うん。楽しみだね！

会話を読んだ後と再現会話を聞いた後の印象の違いや変化はありましたか。

ワーク 2

(1) 次の1～20の言葉や行動は、社会の中では「女らしさ・男らしさ」どちらにあてはまると考えられていますか。分けてみましょう。

- | | | | |
|--------|------------|-----------|---------|
| 1 活動的 | 2 おとなしい | 3 リーダーシップ | 4 従順、従う |
| 5 経済力 | 6 家事 | 7 弱音を吐かない | 8 強がらない |
| 9 決断力 | 10 人の意見を聞く | 11 度胸 | 12 愛嬌 |
| 13 闘争心 | 14 協調性 | 15 守る | 16 守られる |
| 17 理性的 | 18 感情的 | 19 強い | 20 やさしい |

女らしさ	男らしさ



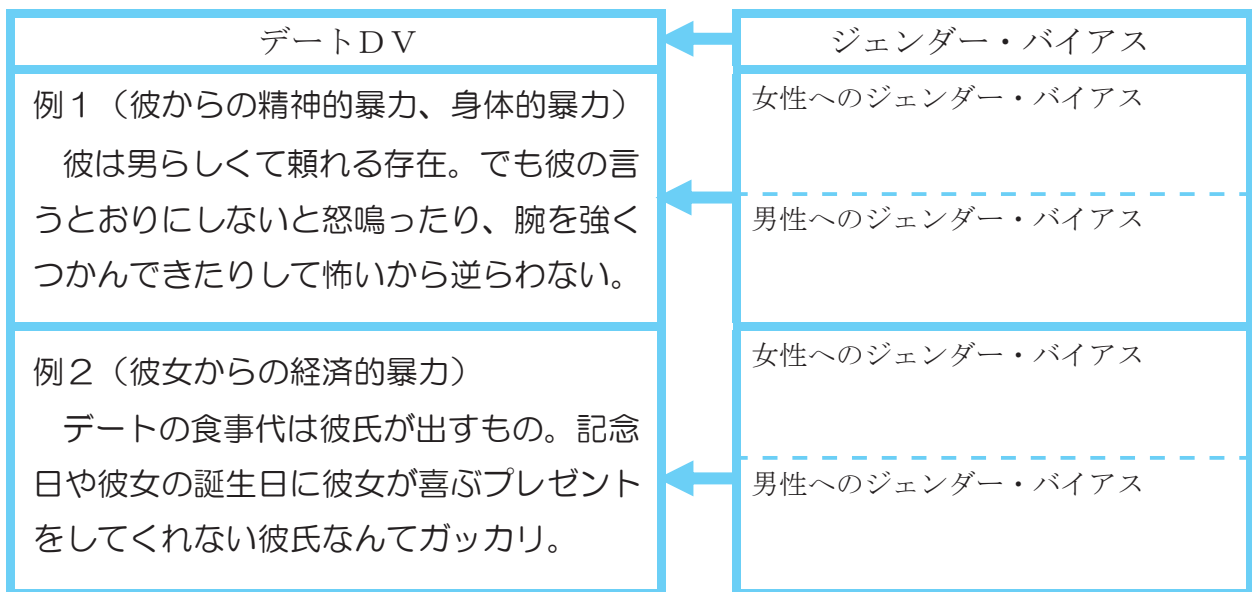
ジェンダー・バイアス（社会的・文化的につくられた性差に基づく偏見）

ジェンダーとは…いわゆる「女らしさ・男らしさ」のこと。 バイアスとは…偏見・先入観のこと。

「10代のデートDV—これってほんとに恋愛？—（改訂版）」パーティ（とちぎ男女共同参画センター）（平成25年度）より

(2) 次のデートDVはどのようなジェンダー・バイアスをもとに起きていると思いますか。

1～20の項目から女性へのジェンダー・バイアス、男性へのジェンダー・バイアスについてそれぞれ選んでみましょう（複数選択可）。



(3) 1～20の項目を「自分にあてはまるもの・自分にあてはまらないもの」に分けてみましょう。そして、グループ内で各自の結果を共有してみましょう。

自分にあてはまるもの	自分にあてはまらないもの

(4) 1～20の項目を「女らしさ・男らしさ」に分けた結果と「自分にあてはまるもの・自分にあてはまらないもの」とに分けた結果の違いから気づいたことを書き出してみましょう。

ワーク 3

あるデートDVの場面を描いた4コママンガです。



「超カンタン デートDVの基礎知識」 かなテラス（神奈川県立かながわ男女共同参画センター）（平成30年6月）より

後日、カレシ、カノジョは「ジェンダー・バイアス」について学びました。

カレシはカノジョに、カノジョはカレシに、どのように接するようになると思いますか。

ワーク 4

私たちには「ジェンダー・バイアス」による思い込みがあることを理解した上で、一人ひとりがデートDVについてどのように考えていく必要があると思いますか。

解説 2 デートDVが起こる社会的要因に気づこう

1 ねらい

デートDVが起こる社会的要因の1つである、ジェンダー・バイアス（社会的・文化的につくられた性差に基づく偏見）を自らがもっていることに気づかせ、デートDVは個人の問題ではなく、社会的要因があり、誰にでも起こり得ることだと認識させる。「女らしさ・男らしさ」ではなく、「自分らしさ」を尊重し合える関係について考える。

2 進め方

展開例（50分 3～4人のグループを作る）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (10分) ① 恋人同士の会話を各自が黙読する。その後、教師2名（Aが女性、Bが男性）が再現する会話を聞き、感じたことをグループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none">○ 再現会話の実施については性差を強調し過ぎないように留意する。○ 会話文のAが女性、Bが男性であることの違和感を共有する。○ この授業は、私たちはこの会話文になぜ違和感をもってしまうのか、それがデートDVとどう関係するのかについて学ぶ内容であることを説明し、ワーク2に入る。○ 時間に余裕があれば、いくつかのグループに発表を促してもよい。
2 ワーク2 (25分) ① 各グループで（1）を考える。 (1) ② 各グループで（2）を考える。 (2)	<ul style="list-style-type: none">○ （1）は個人的な考えではなく、社会の中で考えられている「女らしさ・男らしさ」で考えて分けるよう注意を促す。○ 各グループでどの項目が「女らしさ・男らしさ」に分けられているかを確認する。○ （1）がジェンダー・バイアスであること、この偏見がデートDVにつながる可能性があることを説明し、（2）を考えるよう伝える。○ 各グループでどのような意見が出ているかを確認する。

- ③ 各自で（3）を考えた後、グループ内で共有する。（3）
- ④ 各グループで（4）を考え、書き出す。（4）

3 ワーク3 (10分)

- ① 各グループで考える。

4 ワーク4 (5分)

- ① 各自で考えをまとめる。

○ デートDVには、ジェンダー・バイアスのような社会的要因もあり、個人の問題ではないことを伝える。

○ 時間があれば、（4）の内容をいくつかのグループに発表するよう促す。

○ いくつかのグループに発表するよう促す。

○ ワークシートを回収し、後日まとめたものを配付するなど、他者の意見や考えに触れる機会を設けてもよい。

3 解説

（1）ワーク1について

ワーク1は、自分の中にある「女らしさ・男らしさ」の思い込みに気づくためのワークである。まず、各自が会話文を黙読することで、「お化け屋敷を怖がるBが女性」、「手を握っていてあげると言うAが男性」という決めつけが、ほとんどの生徒に起こると思われる。次に、会話文の再現をAが女性教員、Bが男性教員で行うことで、多くの生徒は違和感やおかしさを覚えるだろう。生徒とこの違和感を共有した上で、私たちはAが男性、Bが女性と決めつけてしまったのはなぜなのか、このような決めつけがデートDVにどのような関係があるのかを考える時間であることを伝える。

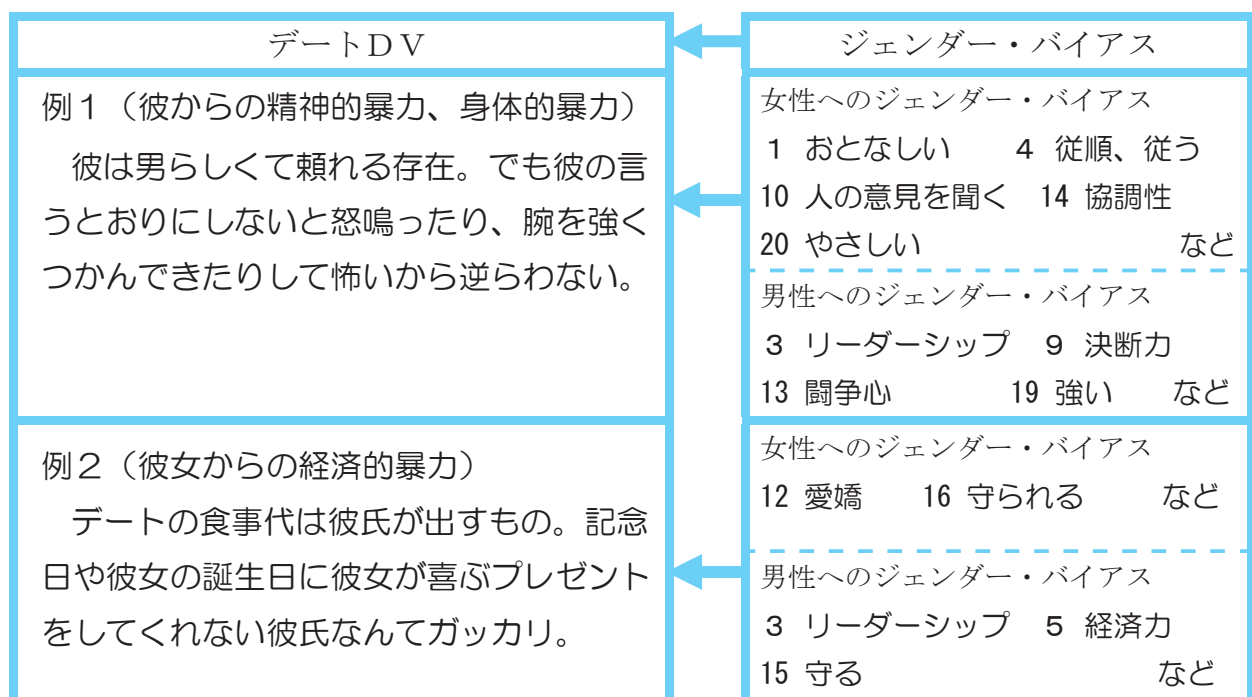
（2）ワーク2について

（1）では、個人の考えではなく社会通念上捉えられている「女らしさ・男らしさ」で考えて分けるようにする。偶数項目が「女らしさ」、奇数項目が「男らしさ」になっている。グループで（1）の分類を終えた後、このような「女らしさ・男らしさ」という決めつけのことを「ジェンダー・バイアス」と言うことを説明する。

ジェンダー・バイアスとは、「社会的・文化的につくられた性差に基づく偏見」のことであり、その社会の中で育ち生活していれば誰もがもってしまう可能性がある。内閣府男女共同参画局の広報誌「共同参画」（平成30年1月号）には世界経済フォーラムが公表した「ジェンダー・ギャップ指数2017」の概要が掲載されている。ジェンダー・ギャップ指数とは、各国の男女格差を指数で測定したもので、日本の順位は

144カ国中114位であった。ジェンダー・ギャップ指数は、「経済」「教育」「政治」「保健」の4分野のデータから作成されたものである。日本の各分野別の順位は、「経済」が114位、「教育」が74位、「政治」が123位、「保健」が1位であり、特に「経済」と「政治」で男女格差があることがわかる。このことから日本には、男性は仕事（経済的、政治参画）、女性は家庭（家事、育児）といったジェンダー・バイアスが存在することが窺える。その他にも、（1）で分けたように、「男性は強く、リーダーシップを取る存在」「女性はやさしく、素直に従う存在」といったジェンダー・バイアスが日本には存在している。ワーク1の会話の再現に違和感を覚えたのも、このジェンダー・バイアスをもっているからである。ジェンダー・バイアスによる社会的な男女の役割の差は、デートDVを引き起こす社会的要因にもなり得る。

（2）は、デートDVがどのようなジェンダー・バイアスをもとに起きているのかを考えさせ、気づかせるものである。デートDVには、「身体的暴力」「精神的暴力」「行動の制限」「性的暴力」「経済的暴力」がある。例1は男性から女性に対する「精神的暴力」及び「身体的暴力」、例2は女性から男性に対する「経済的暴力」である。このワークでは次のような回答例が考えられる。



内閣府男女共同参画局の「男女間における暴力に関する調査報告書<概要版>」（平成30年3月）によると、交際相手からの暴力の被害経験として女性は約5人に1人、男性は約9人に1人の割合で暴力被害を受けており、被害者の数は少なくない。デートDVはジェンダー・バイアスだけが原因ではないが、個人の問題ではなく誰にでも起こり得るものであること、デートDV予防のためには自分や社会の中にデートDVを引き起こす社会的要因があり、誰もが被害者や加害者になり得ることを理解しておく必要があることを伝える。

(3)は、「女らしさ・男らしさ」ではなく「自分らしさ」に焦点をあてるワークである。1～20の項目を「自分にあてはまるもの・自分にあてはまらないもの」に分けると、「女らしさ・男らしさ」で分けたときとは異なる分け方になるだろう。さらにグループで各自の結果を共有することで、一人ひとりが性別にとらわれない「その人らしさ」をもった人間なのだと改めて気づくことを目的としている。

(4)では、「女らしさ・男らしさ」という分類よりも「自分にあてはまる・自分にあてはまらない」の方がより自由であることや、グループ内で「自分にあてはまる・自分にあてはまらない」を共有し合った結果、人によって分類が異なるという多様性への気づき、自分らしさや相手らしさをお互いに尊重し合える関係を築くことの大切さへの気づきが書かれることを期待したい。

(3) ワーク3について

ワーク3では、デートDV場面のマンガを用い、マンガに登場するカレシ、カノジョがこれまでの内容を学んだと仮定し、どのように相手に接するようになるのかを考えさせる。カレシがカノジョに対して支配的でない接し方や、カノジョがカレシに対して自分の意見を言えるといった接し方、カレシ、カノジョともに自分の態度がジェンダー・バイアスによるものかもしれないと気づけるといった意見が出ることを期待したい。また、簡単には自分の言動を変えられないといった意見や、自分の言動とジェンダー・バイアスを結びつけられないかもしれないといった意見などがあれば、それも大切にしたい。ジェンダー・バイアスやデートDVという問題は簡単な問題ではないからこそ、予防という意味でもこのように学ぶ機会が大切であると伝える。

(4) ワーク4について

まとめでは、多くの生徒が自らもジェンダー・バイアスをもっていることを認識できたことを前提に、デートDVが個人的な問題ではなく自分にも起こり得ることであること、「女らしさ・男らしさ」よりも「自分らしさ」を大切にしたいなどの記述があれば、本時のねらいが達成できたものとする。

<参考資料>

- 「広報誌 共同参画 平成30年1月号」内閣府男女共同参画局（平成30年1月）
- 「男女間における暴力に関する調査報告書<概要版>」内閣府男女共同参画局（平成30年3月）
- 「デートDV防止プログラム実施者向けワークブック 相手を尊重する関係をつくるために」
著者 山口のり子 梨の木舎（平成15年10月）

3 障がい者の人権

※「害」の表記については、法令などの名称及び法令などで定められている用語などで漢字表記が使用されている場合、又は機関、団体などの固有名詞が漢字表記となっている場合を除き、原則としてひらがなで表記しています。

ワーク 1

1～3は障がいのある人にとってそれぞれ問題となる可能性があります。どのようなことが問題となるのかを考えながら、障がいの種類をそれぞれ下から選んで書きましょう。

1 ハイブリッドカー	
2 カラフルな服装	
3 大きな音	

聴覚障がい / 視覚障がい / 肢体不自由 / 自閉スペクトラム症 / 知的障がい / その他

ワーク 2

こんな映画を見たことはないだろうか？ある日目覚めると幽霊（ゴースト）になっているのだけれど、自分が死んだことが分からない。ぼくもそんなふうだった。みんなぼくがいないかのようにふるまっているけど、なぜなのかがわからない。「ぼくを見て」と必死で頼み、訴え、叫び、金切り声を上げようとするが、誰も気づいてもらえない。ぼくの心は使いものにならない身体に閉じ込められて、腕も足も思い通りにならず、声も出せない。「意識が戻ったよ！」と伝えるサインも音も出すことができない。ぼくは誰の目にも映らない、幽霊少年（ゴーストボーイ）なのだ。

「ゴースト・ボーイ」著者 マーティン・ピストリウス ミーガン・ロイド・デイヴィス
訳 長澤あかね PHP研究所（平成28年6月）より

大きな障がいと向き合ったマーティン・ピストリウスさんの映像を見て、（1）～（4）の問いに答えましょう。

（1）ピストリウスさんにはどのような障がいがあり、どのような支援を必要としていますか。

(2) 周囲の家族や、医師、ケアハウスのスタッフは、なぜピストリウスさんが意識を取り戻したことに気づかなかったのでしょうか。

(3) その結果、ピストリウスさんはどのような思いをしていましたか。

(4) アロマセラピストはピストリウスさんが意識を取り戻していることに、どうして気づくことができたのでしょうか。

ワーク 3

障がいのある人たちが社会とつながるために、私たちは何ができると思いますか。今日学んだ内容から考えてみましょう。

解説 3 障がい者の人権

1 ねらい

障がい者の人権問題では、障がいのあるなしに関わらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することが大きな目標である。いわゆる「障害者差別解消法」が平成28年4月1日から施行されるなど、法的な改善は進んではいるが、目標達成のためには、私たち一人ひとりが障がいに対する先入観にとらわれることなく、相手の状況や場面、心情に応じた配慮や支援を考える力を養い、より具体的なサポートをすることが大切である。

ここでは、1人のセラピストの注意深い観察力と丁寧な関わりが、マーティン・ピストリウスさんが社会復帰する第1歩へとつながったエピソードをとおり、他者を思いやり、具体的な支援を行おうとする意欲と態度を育みたい。

2 進め方

展開例 (50分 3～4人のグループを作る)

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (10分) 1から3のキーワードから障がいの種類を考え、選んで書く。	<ul style="list-style-type: none">○ 様々な障がいについて知り、具体的にどのようなことで困っているのかを学ぶ。障がい名はまわりと区別するためのものではなく、支援のヒントとなるものであることを強調する。○ 生徒や家族に当事者がいる可能性もふまえ、授業を展開する。
2 ワーク2 (30分) ① ピストリウスさんの映像を視聴し、教師の説明を聞いて、各グループで(1)～(4)を考える。(20分) ② 彼とまわりの人々の状況や関わり方、彼の社会復帰の過程について考え、各グループで話し合う。(10分)	<ul style="list-style-type: none">○ 参考動画の映像視聴(14分8秒、字幕映像)後に教員が、解説の補足説明を読み上げてからグループワークに移行する。○ 意識が戻っているのにも関わらず、殻に閉じ込められたままであったピストリウスさんの気持ちを想像しながら取り組むよう促す。
3 ワーク3 (10分) 障がい者が社会とつながるために、自分たちにどのようなことができるかを各グループで話し合い、意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none">○ 障がい者が、社会とのつながりをもつために私たちはどうすればよいかを考えるよう促す。このとき、グループ同士で意見を交換するなどして、自分たちの考えだけでなく他者の考えも取り入れ、生徒が広い視野をもてるよう配慮する。

3 解説

(1) ワーク1について

世の中には様々な障がいがあることを知り、理解する。また、それぞれの障がいには私たちが気づきにくい障がい特有のニーズがあることを学習する機会とする。それぞれの障がい名はまわりと区別するための名前ではなく、接し方や支援方法を考えるためのヒントであることを伝えたい。

1 視覚障がい

健常者にとって、ハイブリットカーの静かさは素晴らしい機能の1つである。しかし、聴覚で周囲の情報を得ることが多い視覚障がい者にとっては、その静かさが、近くに車がいることを知る上で障壁になり得る。

2 聴覚障がい／自閉スペクトラム症

手話でコミュニケーションを取ることが多い聴覚障がい者にとって、カラフルな服や柄の多い服は手話を読み取る上で障壁となり得る。相手の手話の位置と服が重なっていると、相手の手元が見にくくなったり、目がちらついてしまったりして、長時間集中して手話を読み取ることが困難になることがある。また、視覚過敏のある自閉スペクトラム症者にとっても障壁となり得る。

3 自閉スペクトラム症

自閉スペクトラム症は、次の2つの特徴をもつ障がいである。

①持続する相互的な社会的コミュニケーションや対人的相互反応の障がい

②限定された反復的な行動、興味、または活動

この障がいがある人たちは、相手の気持ちや周囲の状況、雰囲気を読み取ることが苦手なため、対人関係をうまく結ぶことができないことがある。また、感覚（聴覚、視覚、味覚、触覚など）の過敏さのある人もおり、大きな音は活動に参加する際に障壁となることがある。

【障壁となり得る身のまわりの物の例】

○教室の掲示物

注意欠陥多動性障がい（ADHD）の人たちには、集中困難や多動などの特徴が見られる。この障がいがある人たちにとっては、必要な情報であるはずの掲示物も、情報過多となり、授業への集中を妨げるものとなり得る。

○黒板に書かれた赤色の文字

先天性の色覚異常がある人にとっては、赤色と緑色は見分けが難しいことがある。緑色の黒板に赤色のチョークで文字を書くと認識しにくい場合があるので、白と黄色のチョークを主体に使用することが望ましい。また、色覚に配慮されたチョークもある。

○建物や道の段差

身体的障がいのない人にとっては問題ない段差や階段が、車イスを使用している人には大きな障壁となり得る。

(2) ワーク2について

ワーク2では、ピストリウスさんが抱えていた問題について気づくことができる目を養いたい。また、アロマセラピストがピストリウスさんに対して健常者と話すように話しかけ、注意深く観察し、かすかな動きの変化に気づくことができたという事実から、障がい名や目に見える障がいだけに気を配るのではなく、障がい者が本当に必要としているものに気づくために、注意深い観察と分け隔てのない接し方が大切であるということを伝えたい。

<補足説明>

南アフリカ出身のマーティン・ピストリウスさんは、12歳の時に感染症にかかり、身体が動かなくなった。次第に意識も失い、14歳の時には昏睡状態になり、医師からは「死ぬまでそっとしておくように」と告げられた。それから2年後の16歳の時に意識を回復し始めたが、依然、身体はほとんど動かさない状態だったため、意識が戻ったことを誰にも気づかれずに数年間過ごした。その間スタッフから肉体的、性的暴力を受け、介護に疲れた母親から「あなたなんて、死ねばいいのに」と言われ、辛く孤独な時を過ごす。そんな中、一人のアロマセラピストが、健常者と話すようにピストリウスさんの目を見て様々な言葉をかけ続けていた所、周囲からは単なる痙攣だと言われていたかすかな動きの変化が、言葉に対する反応であると気づきはじめ、両親にリハビリを受けさせることを強く勧めた。

その後のリハビリのおかげで、ピストリウスさんの身体機能の一部は回復し、得意となったパソコンを使って人工音声を通じてコミュニケーションを取ることができるパソコンソフトを開発した。そして大学で学位を得て、結婚もしている。

(3) ワーク3について

ワークを通して、障がいには様々な種類があり、目に見えるものだけでなく「目に見えづらい困難」があるということや、相手をよく知ることで本当のニーズに気づくことができるということなどを学んだ。学んだことをふまえて、どのようにすれば障がい者が社会とつながり、私たちに何ができるのかを具体的に考えさせたい。

<参考動画>

「誰も知らなかったことー私の心はどの様にしてこの世に復活したのか?ー」マーティン・ピストリウス TEDウェブサイト ※神奈川県教育委員会ネットワーク 閲覧可能

<参考資料>

「支援を必要とする児童・生徒の教育のために」神奈川県立総合教育センター（平成30年3月）

「学校における色覚に関する資料」公益財団法人日本学校保健会（平成28年3月）

「ゴースト・ボーイ」著者 マーティン・ピストリウス ミーガン・ロイド・デイヴィス

訳 長澤あかね PHP研究所（平成28年6月）

4 高齢者の理解

私たちが暮らす日本はおよそ4人に1人が高齢者という高齢社会に突入しています。加齢に伴って起こる心身の変化と生活上の問題を理解し、周囲の環境をどのように整えるかは、高齢者の生活を支える上でも重要な課題です。そうしたときに、私たちは高齢者にどのように接したらよいのでしょうか。

ワーク1

(1) 次のページの詩を読み、加齢に伴って変化していく高齢者の心と身体の特徴だと思うことをできるだけ多く書き出してみましよう。

【心の変化に伴う特徴】

例) 自信がなくなる

【身体諸機能の変化に伴う特徴】

例) 歩くのが遅くなる

(2) 日常生活で高齢者がどのようなことに困っているのか、各グループで意見交換してみましよう。

【自分の考え】

【グループ内の意見】

老いるということ
親が老いていくということ
それは、何度も同じ話をするという
何度も同じことを訊いては、
あなたを苛々させるということ

親が老いていくということ
それは、自信がなくなるということ
自信がなくなるけど、
子どもにだけは強がっていたいということ

親が老いていくということ
それは、歩くのが遅くなるということ
膝や腰が常に痛いということ
低気圧がくるだけで
動くのがしんどい日があるということ

親が老いていくということ
それは、食べる量が減るということ
噛む力が弱まるということ
でも食べたいものを食べさせるのが
一番の健康法であるということ

親が老いていくということ
それは、もう生きているのは嫌
早く死にたいと言い出すということ
だけどあなたに迷惑をかけたくない気持ちと
裏腹かもしれないこと

親が老いていくということ
それは、トイレが近くなること
夜中にトイレで起きるということ
尿道も肛門もゆるむから
ふとしたときに漏らすということ

親が老いていくということ
それは、歩行や食事が遅くなったり
トイレに失敗したときでも
子どもにだけは怒鳴られたくない
怒られたくないということ

老いるということ
親が老いていくということ
それは、言葉が咄嗟に
出なくなってくるということ
言葉が出なくなっても、
心の中に想いはちゃんとあるということ

親が老いていくということ
それは、周囲の友人や
愛している人や犬や猫が
徐々にこの世からいなくなって
どんどん不安になるということ

親が老いていくということ
それは、不安である分、
あなたのことが気になりだということ
あなたの電話を待っているということ
声が聴きたいと願うこと

親が老いていくということ
それは、^{しぼ}萎んでいくこと
小さくなっていくということ
小さくなって軽くなって
それでもあなたの親であるということ

親が老いていくということ
それは、お別れの日が少しずつ
近づいてきているということ
親がどんなお別れを望んでいるか
察してあげること

親が老いていくということ
それは、うとうととする日が
多くなってくるということ
この世とあの世の境目が少しずつ
曖昧になってくるということ

親が老いていくということ
それは、命の仕舞い方を、
あなたに教えてくれているということ
あなたもいつかこうなるのだと
それは最後のプレゼント

「親の『老い』を受け入れる～下町医師とつどい場おばはんが教える、認知症の親をよくする介護～」長尾和宏×丸尾多重子 ブックマン社（平成28年1月）より

ワーク 2

- (1) 高齢者になると、身体諸機能の変化にともない、視野が狭くなったり、筋力の低下などにより階段の昇り降りや小さな段差でつまずいたりするなどの特徴が見られます。あなたの近くにそのような高齢者がいたときに、どのように接したらよいか考えてみましょう。

- (2) 将来、自分や身近な人も高齢者になり、現在では不自由を感じず、気にならない多くのことが、不自由に感じられるようになります。そのとき、あなたは高齢者がよりよい生活を送るために、どのような社会にしていけばよいと考えますか。

ワーク 3

今日のワークをとおして感じたことや考えたことを書きましょう。

解説 4 高齢者の理解

1 ねらい

平成30年度版「高齢社会白書」によると、65歳以上の高齢者の人口は過去最高の3,515万人であり、総人口に占める割合も27.7%である。今後、総人口が減少するなかで、高齢者人口は増加し、高齢化率も上昇していく。社会を支えてきた人たちが高齢者となり、今、社会を支えている人たちが次に高齢者となる。高齢者に尊敬の念をもって接することはもちろんだが、これから自分自身がどのように年齢を重ねていくかということ、考える必要がある。また、加齢に伴って心身の機能が変化することにより、若い人なら避けられる危険なことなども、高齢者には避けられない場合もある。生徒に高齢者の心身の特徴を理解させ、どのように接していくか、どのような社会にしたいかを考えさせることにより、今後も進んでいく高齢社会を若者と高齢者が互いに思いやりをもって生活していくための資質を育てたい。

2 進め方

展開例（50分 3～4人のグループを作る）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (30分) ① 各自で詩を読む。 ② 心身の変化の特徴と思うことを詩から抜き出し記入する。(1) ③ 高齢者の困っていることについて、心身の変化からどのようなものが考えられるかグループの中で意見交換する。(2)	<ul style="list-style-type: none">○ 自分が感じたままに記入するように促す。○ できるだけ多く書き出すように促す。○ まわりの意見を共感的に受け止めるようにする等、互いの意見を尊重するように促す。
2 ワーク2 (15分) ① 場面を想像しながら、自分の考えを記入する。(1) ② これからの社会をどのようにしたらよいか自分の考えを記入する。(2)	<ul style="list-style-type: none">○ 高齢者に起こりやすい筋力低下などの例を挙げる。○ これから先、自分たちが生きていく社会をどのようにしたらよいか考えるよう伝える。
3 ワーク3 (5分) ワークをとおして感じたことや考えたことを記入する。	<ul style="list-style-type: none">○ 心身の特徴の理解を深め、高齢者と若者が互いに思いやりをもって社会生活を営んでいくことが大切であることを伝える。○ 自分の思いのまま記入するように促す。

3 解説

(1) ワーク 1 について

人は必ず老いていく。ワークに記載した詩は、人は皆老いていき、そのときにどのような気持ちで生活を送っているのか、体がどのように変化していくのかがわかりやすく書かれている。「老い」を受け入れ、理解し、身のまわりにいる高齢者への接し方や自分自身が高齢になったときにどのように生活するかを考えさせたい。

詩の中から、心身の特徴を抜き出すと次のようになる。

【心の変化に伴う特徴】

- ・ 何度も同じ話をする
- ・ 何度も同じことを訊く
- ・ 自信がなくなる
- ・ 強がっていたい
- ・ 早く死にたいと言いつ出す
- ・ 迷惑をかけたくない
- ・ 怒られたくない
- ・ あなたのことが気がかり
- ・ 不安になる など

【身体諸機能の変化に伴う特徴】

- ・ 歩くのが遅くなる
- ・ 膝や腰が常に痛い
- ・ 動くのがしんどい
- ・ 食べる量が減る
- ・ 噛む力が弱まる
- ・ トイレが近くなる
- ・ 尿道も肛門もゆるむ
- ・ 漏らす
- ・ 歩行や食事が遅くなる
- ・ 言葉が吐き出さなくなってくる
- ・ 萎んでいく
- ・ 小さくなっていく など

また、一般的に加齢に伴う心身の変化のあらわれ方や進み方には個人差があるが、次のような特徴が挙げられる。

【心の変化に伴う特徴】

- ・ 話したがる
- ・ 不安がる
- ・ 寂しがる
- ・ 疑い深くなる
- ・ 頑固になる
- ・ 融通性がなくなる
- ・ 自己中心的になる
- ・ 体のことを気にしだす など

【身体諸機能の変化に伴う特徴】

- ・ 視力が落ちる、視野が狭くなる
- ・ 聴力が低下する
- ・ 記憶力が低下する
- ・ 認知的処理速度が低下する
- ・ 息切れしやすくなる
- ・ 動作がゆっくりになる
- ・ トイレに行く回数が増える など

(2) ワーク 2 について

日常生活の中で健康への不安や、それによる不自由さを感じることの少ない高校生にとって、高齢者の暮らしを支え、暮らしやすい社会づくりのためにどのような工夫・環境整備がなされているのか、また、そうした取組が高齢者をはじめ、多くの人の暮らしやすさにつながっているのかについて、具体的なイメージをもったり、実感したりすることが難しい可能性がある。

日ごろ、その目的や役割についてはあまり意識することのないバリアフリーやユニバーサルデザインなどについて関心をもたせたい。

また、高齢者の心身の変化について理解を深めることによって、高齢者が困っている場面や不自由を感じている場面において、どのように接することができるのかなど

を考えさせたい。そして社会の高齢化が今後も進んでいくことをふまえて、若者と高齢者が互いに思いやりをもってよりよい生活を送ることができる「高齢者を含めたすべての人が暮らしやすい社会」とはどのような社会かについて考えさせたい。

<参考資料>

「平成 30 年度版 高齢社会白書（全体版）」内閣府ウェブサイト

「地域における人権教育の推進をめざして ライフステージに応じた参加体験型人権学習実践事例集」（平成 19 年 3 月）兵庫県教育委員会ウェブサイト

「最新高等 保健体育」大修館書店（平成 28 年）

5 エイズ患者・H I V感染者の人権

H I V感染は、かつてのように「死に至る病」ではなくなりました。効果のある治療が開発され、感染者をとりまく環境は大きく変わっていますが、差別や偏見が現在も残っています。そのために感染者は、病気そのものよりも、差別や偏見への不安にさいなまれながら、感染を隠し続けるという精神的苦痛を強いられている現状があります。エイズ・H I Vについてこれまで学んできたことを確認したり、新たに知ることで、正しい知識を身につけましょう。

また、エイズ患者・H I V感染者に、あなたや周囲の人がどのような関わり方・支援ができるのかを考えてみましょう。

ワーク 1

エイズ・H I Vについての知識を確認しましょう。

次の1～10について知っていれば○を、知らなければ×を（ ）に書き入れましょう。

- 1 「H I V」は免疫不全（免疫がうまく働かなくなること）を引き起こすウイルスの名称であり、H I V感染症の進行により免疫不全に陥った状態を「エイズ」という。（ ）
- 2 H I Vに感染してからすぐにエイズを発病するわけではなく、症状の出ない潜伏期間が数年から10年ほどある（この期間には個人差がある）。（ ）
- 3 検査で早期発見して適切な治療を続ければ、発病を抑えることができ、エイズで命を落とすことはない。（ ）
- 4 エイズウイルス（H I V）は感染力が弱いウイルスで、感染経路は、「性的接触による感染」、「血液を介する感染」、「母子感染」の3つの経路に限られる。（ ）
- 5 4の経路以外の日常的接触（握手、咳やくしゃみ、風呂やプール、食器等の共同使用等）では通常感染しない。（ ）
- 6 性行為におけるコンドームの正しい使用は、H I V感染症・エイズ予防にとって有効な手段である。（ ）
- 7 H I Vに感染、またはエイズを発症しても、薬を飲み続けるなど適切な治療を継続することによって、普通の生活を送ることができるし、子どもを安全に出産することも可能である。（ ）
- 8 本人がH I V感染に気づかず適切な対応をしないと、他人にH I Vを感染させてしまう可能性があり、それを防ぐためにはH I V感染の早期発見が重要である。（ ）
- 9 日本では、H I Vに感染していたことを知らずに、エイズを発症して初めて気づいたというケースが、新規H I V感染者・エイズ患者数の約3割を占めている。（ ）
- 10 H I V検査は、全国各地にある保健所など（匿名・無料）や、病院・クリニックなどの医療機関（原則有料）で受けられる。（ ）

ワーク 2

次の文はH I V感染者が、働く上で自分がH I V感染者であることを職場に打ち明けた事例です。10数年前のインタビュー記事であり、H I V感染者をとりまく治療環境は現在とは異なっていますが、事例を読んだ上で（1）について自分の考えを書いた後にグループで意見を出し合しましょう。続いて、（2）について自分の考えを書いた後にグループで意見を出し合しましょう。

コウヘイさん 30代男性

感染を知った頃

2002年、地方で行われていたHIV検査イベントで即日検査を受け、翌日に感染が分かりました。体調不良が続いていたので、「もしかしたら」という気もありましたが、結果を知った時には「やっぱり」と「まさか」の気持ちが半々くらいでした。友人にはすぐにカミングアウトをしました。知らせなくてもいい人にまで話してしまい。今、思うと精神状態が不安定だったんでしょうね。

仕事について

当時は正社員として働いていました。誰にも話さずに働き続けることが不安だったので、告知から1か月たった頃、年齢が同じくらいの上司に打ち明けました。それまでも個人的な話をする仲だったし、仕事の責任者でもあったので。シフト制勤務で、人数がギリギリだったので、一人が休むと業務が回らなくなる状況でした。もし、僕が体調を崩して休んだら、周囲に迷惑をかけてしまうと思ったんです。上司の考えを聞きながら今後のことを相談するつもりでした。上司は親身に聞いてくれる雰囲気があり、「わかりました、考えてみます」と答えてくれました。

あとから上司の考えを聞かせてもらえるものとはばかり思っていたら、数日後、本社から役員クラスの人が2名来て、別室に呼び出されたんです。そして、いきなり「HIV陽性というのは事実なのか？」と尋ねられました。「そうです」と答えるしかありませんでした。さらに「感染ルートはどういうこと？」「どうやってうつったのか？」など、詰問調で尋ねられて。

やりとり自体が苦痛でしたが、1時間ほど話を続けたあと、「食品の製造関係のため、病気を持った人を現場で使うと、何かあった時に責任を持ってないので、このままの雇用ができない」と言われました。直感的に、これは不当解雇だと思いました。もし自分が解雇されたら、他のスタッフにもしわよせがいきます。だから、「そういう扱いでは困ります」と食ってかかりました。でも、僕も会社の誤解を解くような病気の説明がきちんとできませんでした。会社側は、ハッキリと辞めてくれという言葉は使わなかったものの、規定では退職金が出ない時期であるが支払うという条件を提示してきました。

解雇をほのめかされたことには、納得がいきませんでした。HIV陽性者の友人から聞いていた話から、解雇は普通じゃないと思えたからです。上司や役員の対応には強い怒りを抱きましたが、今思えば、上司も初めて部下にHIVを打ち明けられて、ひとりで何かを決めるのは難しかったのでしょうか。

その後、弁護士に相談しました。僕が就労を継続したいと伝えると、弁護士は会社の役員らと直談判しようとしてくれました。その矢先、本社に呼ばれ、部署の上司と人事担当者から、「これまでと同じように働いてください」と言われたんです。体調を気遣われ、事務職への異動を提案されました。

事務職へ異動できたのは、体力的には助かりました。それでも、休みを続けて心証を悪くしないように、けっこう無理をしてしまいましたけれど。

新しい部署では、管轄の上司だけが感染の事実を知っており、会社からは「周囲の人には病気のことを言わないように」と言われていました。上司は最初、僕の体を気遣ってくれているように見えたのですが、次第に割り当てられる残業が少なくなり、いわゆる窓際というか、簡易な仕事ばかりあてがわれるようになりました。収入も激減したうえ、辞職するまでの約4年間、上司は何かにつけて病気のことを持ち出し、査定時には「あなたは病気に甘えている」とも言われました。そう言われても、上司が仕事を配分してくれないので、それ以上の仕事はしたくてもできない状況だったのですが……。次第に通院のために休んだり、定時に帰宅したりすることについて、職場内からも非難的な雰囲気が高まってきました。だんだん職場に居づらい雰囲気ができてきたんです。

自分としては、周囲の人に病気のことを話し、自分の状態や働き方を理解してほしいかったです。周囲からの視線が痛くなるなか、昇給もなくなり、収入は以前の半分程度。徐々に自分のモチベーションも下がっていきました。同僚からは、まるで腫れ物に触るように接してこられ、席も窓際で一人きり。孤独感が強くなり、転職について準備をするようになりました。そして、上司から小言を言われたのをきっかけに、自分から辞めたいと切り出したんです。今ふり返ってみると、いつ、どんな風に職場にHIVを打ち明けるか、もっと考えたり、誰かに相談したりしてから言えばよかったかなと思います。打ち明けない選択もあったはず。その時は言うしかないと思っていたんです。

仕事を辞めてから2年半がたちますが、現在は仕事をしていません。会社員として働くこと自体にも違和感を覚えるようになりました。会社によってHIV陽性者への対応は違うかもしれません。海外の工場に視察に行くと、HIVについての啓発ポスターが貼られていたりします。日本でも、会社の意識が高まり、免疫障害者の雇用の前例ができれば、変わってくるかもしれないですね。

「15人の語りで学ぶHIV陽性者と地域生活 事例から支援を考える」厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班 編（平成21年3月31日）より

※引用文の一部を削除して掲載しています。

(1) この事例において、どのような職場環境がコウヘイさんの生活を妨げていると思いますか。

(2) 自分（の職場）ならどのような支援ができると思いますか。

ワーク3

グループワークをとおして感じたことを書きましょう。

■ 資料 1 暮らしに役立つ情報（政府広報オンライン）

ストップエイズ！

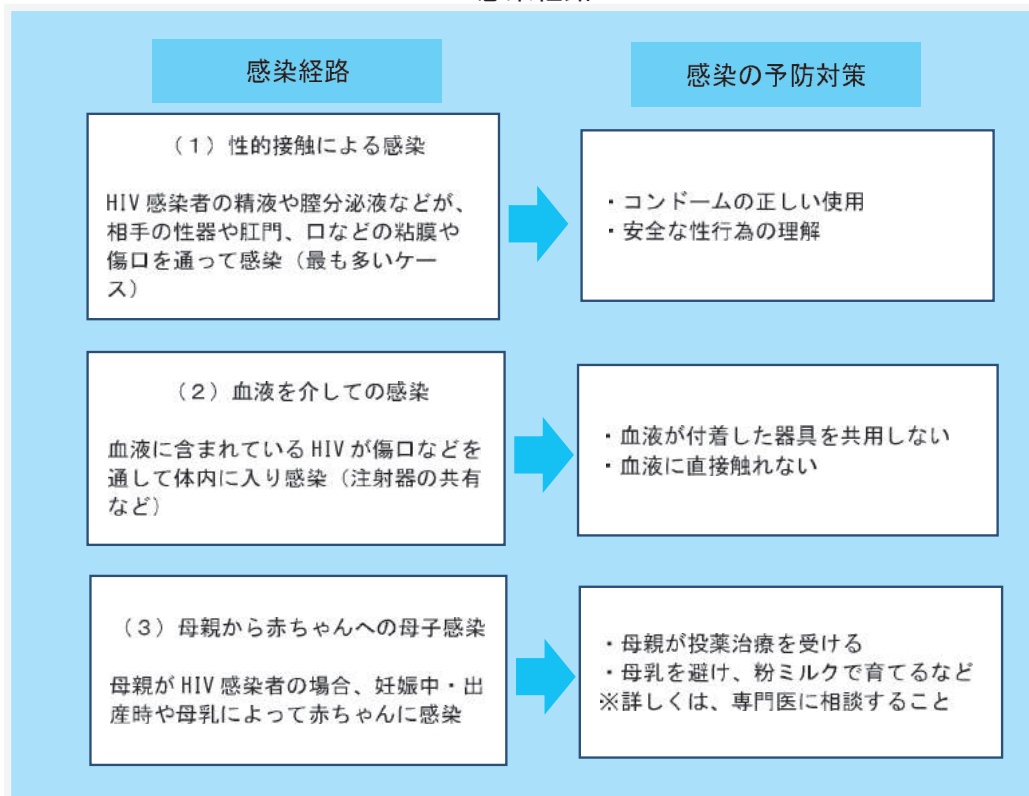
今は「不治の特別な病」ではなく、コントロール可能な病気です。
まずは早めに「HIV 検査」を

昔は不治の病というイメージがあったエイズ。現在では様々な治療薬が開発されたおかげで、適切な治療によって症状をコントロールしながら、普通の生活を送ることができるようになってきました。感染予防のために正しい知識を理解することが重要です。また、早期発見と治療のためにも HIV 検査が大事です。全国の保健所などでは匿名・無料で HIV 検査や相談ができますので、ぜひ利用してください。

○感染を防ぐには？ 主な感染ルートは3つです

HIV は血液や精液、膣分泌液などに含まれますが、感染力が弱いため、日常生活（握手・入浴・缶などの回し飲みなど）ではうつりません。主に次の3つの感染経路に限られているため、正しい知識を持って予防策をとることで、HIV 感染のリスクを減らすことができます。

感染経路



○感染・発症したら治せるの？ 早期の発見・治療で発症を抑えられます。

「不治の特別な病」ではなく、コントロール可能な病気です

今のところ、体の中にある HIV を完全に取り除くことはできません。ただし、医療の進歩によって様々な治療薬が開発されたおかげで、体内にいる HIV の増殖をおさえ、免疫力を維持することが可能になっています。万一、HIV に感染、またはエイズを発症しても、薬を飲み続けるなど適切な治療を継続することによって、普通の生活を送ることができますし、子どもを安全に出産することも可能です。なお、エイズ発症後での治療は、発症前と比べて難しくなるため、より高い治療効果を得るためには、HIV 感染を早期に発見し、早期治療につなげることが大変重要です。

○HIV 検査を受けるには？ お近くの保健所で匿名、無料で受けられます

HIV 検査は、全国各地にある保健所など（匿名・無料）や、病院・クリニックなどの医療機関（原則有料）で受けられます。HIV 検査施設については、次のホームページから検索できます。 A P I - N e t （エイズ予防情報ネット）

■ 資料 2

大切な友達や恋人から「HIVに感染している」と知らされたらどうする？

これまでHIV陽性者に会ったことがないし、これから会うこともない」と思っていますか？

ぶれいす東京の研究グループの調査で、全国1,000人以上のHIV陽性者が回答した結果、「パートナーや配偶者に病気のことを伝えている」という人は8～9割でしたが、「会社など職場の仲間や上司に伝えている」という人は、たった1割前後でした。また、友達に知らせている人は4割程度でした。日本にはおよそ3万人の陽性者が暮らしていますが、感染しているかどうかは、見た目ではわかりません。もしかしたら周りにいないのではなく、伝えられていないだけかもしれません。

大切な友達、学校や職場の仲間から「感染がわかった」と知らされたら、どんな言葉をかけますか？

まずは、HIV陽性者たちが、なぜその事実をあなたに知らせたのかを想像してみましよう。自分のことを理解して欲しい、嘘はつきたくないと思っている人も多いですし、恋人やこれから付き合いたい人には、性的な関係になる前に説明したいと願うHIV陽性者は多いです。あなたのことを信頼しているからこそ、あなたに話したのかもかもしれません。そうした場合には、「HIV陽性である」ということを、周りに話してもいいのか、言わないで置いて欲しいのかを本人に確認してみてください。

そして他にどうして欲しいのかも尋ねてみましょう。

相手に何かをして欲しいのではなく、HIVに感染していても、一緒にいてくれるだけで十分という人が多いようです。

〈記事〉著者 NPO 法人ぶれいす東京代表 生島嗣「Me x（ミークス）」NPO 法人 3keys ウェブサイト

解説5 エイズ患者・H I V感染者の人権

1 ねらい

H I V感染は、かつてのように「死に至る病」ではなくなった。効果のある治療法が開発され、感染者をとりまく環境は大きく変わっているが、差別や偏見が現在も残っている。そのために感染者は、病気そのものよりも、差別や偏見への不安にさいなまれながら、感染を隠し続けるという精神的苦痛を強いられている現状がある。ここでは、エイズ・H I V感染に関する正しい知識を身につけるとともに、H I V感染者のおかれている状況を少しでも自分のこととして捉え、実際に自分がH I V感染者やエイズ患者に出会った際、どのような関わり方・支援ができるのかをイメージできるようにする。

2 進め方

展開例（50分 4～5名のグループを作る）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1 (20分) ① 1～10を読み、知識の確認をする。 ② 教師の解説を聞く。	○ 資料1・2 を配付し、解説を参考にして、誤解や思い込みをなくし、正しい知識を伝えていく。病気について正しく理解した上で、自分がH I V感染者やエイズ患者に出会った際にどのような行動がとれるのか、具体的にイメージするよう伝える。 ○ また、疾病に対するネガティブなイメージをもたせないように十分に配慮する。
2 ワーク2 (25分) ① 事例を読み、4～5名程度のグループに分かれる。 ② どのような職場環境がコウヘイさんの生活を妨げているのかを書き出してみる。(1) ③ グループで意見を交換し、共有する。(1) ④ 自分の職場ならどのような支援ができるかを考えて書く。(2) ⑤ グループで意見を交換し、共有する。(2)	○ 事例を読む際には、(1)(2)の視点をもって読むことを伝える。 ○ 状況に応じて教員がグループの中に入り、意見を引き出す。 ○ 資料2 を参照するように伝える。
3 ワーク3 (5分) グループワークをとおして感じたことを書く。	

3 解説

(1) ワーク1について

ここではH I V及びエイズについて正しい知識を伝えたい。H I Vは感染力が弱く、主な感染経路が限られているため、日常的接触では通常感染しないこと、検査によるH I V感染の早期発見が適切な治療につながり、エイズの発症を抑えられること、また、適切な治療を継続することでH I Vに感染していても普通の生活を送ることができ、治療を開始することで、他人への感染を防ぐことにもなることを強調したい。

1、2…H I V感染とエイズの関係を確認する。

3、7…H I V感染に気づき、治療を開始すると、やがて、H I V陽性者のほとんどが治療によって血液中にH I V（ウイルス）が見つからないレベル、検出限界以下になる。

治療を継続して体内のウイルス量が減少すれば、H I Vに感染している人から他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されている。

4、5、10…資料1

6 …性行為におけるコンドームの正しい使用は、H I Vに限らず、他の性感染症予防にもとても有効な手段である。

8、9…詳細は、「ストップエイズ！今は「不治の特別な病」ではなく、コントロール可能な病気です。まずは早めに「H I V検査」を」政府広報オンライン（平成29年12月1日）及び「日本における近年のH I V感染者・エイズ患者の発生動向」厚生労働省エイズ動向委員会「平成28年エイズ発生動向一概要」を参照

(2) ワーク2について

実際に自分がH I V感染者やエイズ患者に出会った際、どのような関わり方、支援ができるのかをイメージできるようにしたい。

事例から等身大のH I V感染者の姿に触れ、(1)「どのような職場環境が、H I V感染者の生活を妨げているのだろうか」、(2)「どのような支援ができるのだろうか」を念頭において読むように指導する。また、事例に触れることで疾病に対するネガティブなイメージをもたせないよう、十分に配慮する。

本事例における支援のためのポイントの例は次のようなものが挙げられる。

2002年当時、自分が仕事を休むことで周囲に迷惑をかけてしまうと懸念したコウヘイさんは、上司にH I V陽性を伝え、相談をしました。コウヘイさんは、上司から個人的なアドバイスをもらうことを期待していたにもかかわらず、会社の役員に呼び出されてH I V感染の事実を確認される事態になってしまいました。会社側が感染経路を尋ねることは、業務には何ら関係のない質問であり、不適切なものです。また、退職金の話を持ち出し、解雇をほのめかすことも、不当解雇

に該当する場合があります。

コウヘイさんが弁護士に相談をすると、会社側は態度を一変させ、その結果、勤務を続けることは可能になったものの、いわゆる“窓際”の扱いを受けることで、コウヘイさんは辞職を余儀なくされてしまいます。

H I V陽性を伝えたあと、明確に解雇を申し渡されない場合でも、上司によるパワーハラスメント行為や不適切な指示、同僚との人間関係や職場の雰囲気などの理由によって、H I V陽性者が働きにくい状況がつけられてしまうことがあります。

この経験のあと、コウヘイさんは仕事に就いていませんが、今後の人生設計について考えるさいには、過去のさまざまなトラブルやその影響についても、話をよく聴いていくことが求められるかもしれません。

「15人の語りで学ぶH I V陽性者と地域生活 事例から支援を考える」厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 地域におけるH I V陽性者等支援のための研究班 編（平成21年3月31日）より

資料2の記事内容にも触れ、生徒にH I V感染者のおかれている状況を少しでも自分のこととして捉え、実際に自分がH I V感染者やエイズ患者に出会った際やH I Vに感染していることを打ち明けられたときにどのような関わり方・支援ができるのかをイメージできるようにしたい。

<参考資料>

「暮らしに役立つ情報」（平成29年12月1日）政府広報オンラインウェブサイト

「Human Rights 人権教育を考える」神奈川県・神奈川県教育委員会（平成29年4月1日）

「API-Net H I V／エイズの知識」エイズ予防情報ネット ウェブサイト

「10代のための相談窓口まとめサイトMe x（ミークス）」掲載記事「大切な友達や恋人から『H I Vに感染している』と知らされたらどうする？」著者 特定非営利活動法人ふれいす東京代表 生島嗣（平成30年2月6日）特定非営利活動法人3keys運営ウェブサイト

特定非営利活動法人ふれいす東京ウェブサイト

「H I V／エイズの基礎知識」公益財団法人エイズ予防財団発行パンフレット（平成27年）

「人権教育ハンドブック」神奈川県教育委員会（平成30年4月）

6 同和問題 [指導資料]

同和問題の解決のために、教育には大きな役割があります。神奈川県教育委員会では、同和問題の正しい理解を促し、差別を許さない心、人権を尊重する心を育むため、生徒用学習教材及び教職員用研修教材として「人権学習ワークシート集Ⅴ－人権教育実践事例・指導の手引き（高校編第14集）－」（平成25年2月）の48頁から60頁まで、生徒用学習教材として「人権学習ワークシート集Ⅵ－人権教育実践事例・指導の手引き（高校編第15集）－」（平成28年2月）の41頁から48頁まで、この問題を取り上げています。

これらの「人権学習ワークシート集」を同和問題の学習教材として活用するにあたり、まず、教職員がこの問題を正しく理解していなければ、児童・生徒を指導することはできません。ここでは、同和問題の指導のポイントを解説しますので、各「人権学習ワークシート集」の解説と合わせて読み、指導にあたってください。

（1）同和問題の正しい理解

平成25年度県民ニーズ調査によると、同和問題をはじめて知ったきっかけは、「学校の授業」（22.0%）が最も多く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本、インターネット」（21.1%）が多くなっています。

児童・生徒がインターネットにおける差別的な書き込みや根拠のない情報を信じることがないように、指導する立場の教職員は同和問題の実態を正しく理解し、伝えることが重要です。また、自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を向上させ、それらを実際の行為に結びつける実践力や行動力を育成することが求められます。

県教育委員会が昭和53年に通知した「神奈川県同和教育基本方針」は、平成25年3月に改訂された「かながわ人権施策推進指針」に取り込まれて整理されました。

国の動きとして、平成28年12月9日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が成立し、同月16日施行されました（**資料1**）。立法に先立ち、衆議院法務委員会における附帯決議（平成28年11月16日）及び参議院法務委員会における附帯決議（平成28年12月8日）がなされています（**資料2**）。この法律は、全ての国民に基本的人権の共有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題である事に鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、相談体制の充実、教育及び啓発などについて定めることにより、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的とするものです。

同和教育の授業を実践する前に、次の図書を読了することをお勧めします。なお、これらの図書は、県立学校及び市町村教育委員会に配付してあります。

- ・「これでわかった！部落の歴史 私のダイガク講座」
- ・「ビジュアル部落史第1巻～第5巻」
- ・「神奈川の部落史」

教職員が同和問題を正しく理解した上で、児童・生徒にも被差別部落の人々が果たしてきた大切な役割や、残してきたすばらしい文化を伝え、それが現代の私たちの生活につながっていることを、しっかりと理解させましょう。

同和教育の進め方として発達段階に応じ、高校では、次のような計画が想定されます。

計画例

同和問題の歴史的変遷を学ぶ。様々な役割を担っていた被差別部落の人々が、戦国大名に重用され、江戸時代には農民・町人とは別の支配体系に組み込まれたこと、明治に入って出された解放令の影響で、困窮し、厳しい差別に見舞われたこと、水平社の結成から戦後の地域改善事業の成果、そして、現在、情報通信技術の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じ、「部落差別解消の推進に関する法律」が施行されたことなどを学習する。

(2) 公正な採用選考

昭和40年の同和对策審議会答申は、同和地区出身者の就職の状況について「近代的な大企業への就職はきわめて少ない」と述べ、その原因は「基本的には社会的差別と偏見」であると指摘しました。当時は、社用紙と呼ばれる会社独自の履歴書を使用して、家庭の経済力や親の職業・学歴などの記載を求め、これらの内容を選考の基準としている会社がありました。また、社用紙に記載させた本籍情報や、採用選考時に提出させた戸籍抄本をもとに身元調査が行われることもあり、これらのことにより同和地区出身者などが就職差別を受けることがありました。

このような状況の中で、生徒を就職差別から守るため、生徒本人の適性と能力に関わりのない項目を応募用紙から取り除くよう企業に求める取組が、学校現場を中心に進められました。その結果、昭和48年に労働省と文部省が、新規高卒者の採用選考時における応募書類は、就職差別につながる事項を除いた「全国高等学校統一用紙」を使用し、戸籍謄(抄)本等の提出を求めないよう通達を出しました。その後、新規中学校卒業者用の応募書類も高等学校の様式に準じて定められ、どちらの様式についても何回かの改訂を経て、現在の様式にいたっています(資料3)。

本県においても、平成9年度の新規高卒者の採用選考において、県内企業数社が本人・家族の本籍地や家族の職業を記載させたり、面接において家族構成や保護者の離婚理由などを質問したりしたことが明らかになりました。このことを受け、県教育委員会では平成10年度から神奈川労働局などの関係機関と連携を図りながら、次のように公正な採用選考の取組を進めています。

- 例年5月に、ハローワークを通じて事業所に公正な採用選考の実施について文書で依頼する。
- 提出書類や面接における不適切な質問について学校からの報告があった場合には、神奈川労働局に連絡の上、不適正事案と認められた場合は、企業に対する指導を依頼する。

生徒を就職差別から守るためには、中学・高等学校の指導の中で、採用選考は本人の適性と能力に基づいて行われなければならないという認識を高め、生徒自身が就職差別につながる質問などに気づき、指摘できるような態度を身につけることが大切です。

また、生徒が就職差別を受けたり、面接で不適切な質問を受けたりした場合には、学校は速やかに教育委員会とハローワークに連絡し、生徒に寄り添うような指導を行うことが大切です。企業に対する事実確認と指導はハローワークが行います。

大学・短大、専門学校、私立中・高等学校などの入学関係書類において、本籍や家族構成などの記載を求めたり、面接時に不適切な質問をしたりするケースも報告されています。県教育委員会では県立学校に対して、学校が提出する入学関係書類に本籍欄や家族欄があった場合には、該当欄は記入せず斜線を施す対応をするよう指導するとともに、文部科学省や大学関係機関などに改善の要望をしています。

<参考資料>

「人権教育ハンドブック」神奈川県教育委員会（平成30年4月）

「同和問題の正しい理解のために」神奈川県・神奈川県教育委員会（平成28年3月）

資料1

部落差別の解消の推進に関する法律

平成28年12月16日施行

(目的)

第1条 この法律は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、全ての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、相談体制の充実等について定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする。

(基本理念)

第2条 部落差別の解消に関する施策は、全ての国民が等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、部落差別を解消する必要性に対する国民一人一人の理解を深めるよう努めることにより、部落差別のない社会を実現することを旨として、行われなければならない。

(国及び地方公共団体の責務)

第3条 国は、前条の基本理念にのっとり、部落差別の解消に関する施策を講ずるとともに、地方公共団体が講ずる部落差別の解消に関する施策を推進するために必要な情報の提供、指導及び助言を行う責務を有する。

2 地方公共団体は、前条の基本理念にのっとり、部落差別の解消に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その地域の

実情に応じた施策を講ずるよう努めるものとする。

(相談体制の充実)

第4条 国は、部落差別に関する相談に的確に応ずるための体制の充実を図るものとする。

2 地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、その地域の実情に応じ、部落差別に関する相談に的確に応ずるための体制の充実を図るよう努めるものとする。

(教育及び啓発)

第5条 国は、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うものとする。

2 地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、その地域の実情に応じ、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うよう努めるものとする。

(部落差別の実態に係る調査)

第6条 国は、部落差別の解消に関する施策の実施に資するため、地方公共団体の協力を得て、部落差別の実態に係る調査を行うものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

資料2

衆議院法務委員会における附帯決議

平成28年11月16日

政府は、本法に基づく部落差別の解消に関する施策について、世代間の理解の差や地域社会の実情を広く踏まえたものとなるよう留意するとともに、本法の目的である部落差別の解消の推進による部落差別のない社会の実現に向けて、適正かつ丁寧な運用に努めること。

参議院法務委員会における附帯決議

平成28年12月8日

国及び地方公共団体は、本法に基づく部落差別の解消に関する施策を実施するに当たり、地域社会の実情を踏まえつつ、次の事項について格段の配慮をすべきである。

1 部落差別のない社会の実現に向けては、部落差別を解消する必要性に対する国民の理解を深めるよう努めることはもとより、過去の民間運動団体の行き過ぎた言動等、部落差別の解消を阻害していた要因を踏まえ、これに対する対策を講ずることも併せて、総合的に施策を実施すること。

2 教育及び啓発を実施するに当たっては、当該教育及び啓発により新たな差別を生むことがないように留意しつつ、それが真に部落差別の解消に資するものとなるよう、その内容、手法等に配慮すること。

3 国は、部落差別の解消に関する施策の実施に資するための部落差別の実態に係る調査を実施するに当たっては、当該調査により新たな差別を生むことがないように留意しつつ、それが真に部落差別の解消に資するものとなるよう、その内容、手法等について慎重に検討すること。

資料 3

全国高等学校統一用紙

(応募書類 その1)

履 歴 書

平成 年 月 日現在

ふりがな		性別
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)	
ふりがな		
現住所		
ふりがな		
連絡先		

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

学 歴 ・ 職 歴	平成 年 月	高等学校入学
	平成 年 月	
	平成 年 月	
	平成 年 月	
	平成 年 月	
	平成 年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)

資 格 等	取得年月	資格等の名称	
趣 味 ・ 特 技			校内外の諸活動
志 望 の 動 機			
備 考			

写真をはる位置
(30×40mm)

(別添1)
全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により平成17年度改定)

(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により平成17年度改定)